

日本英語学会第36回大会公開特別シンポジウム

参加費無料
事前登録不要

統語・意味解析コーパス (NINJAL Parsed Corpus of Modern Japanese, NPCMJ) 開発と言語研究

2018年 11月 25日 (日)
13:10~15:55



会場 横浜国立大学 経済学部講義棟 101 教室

(〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常磐台 79-1)

本シンポジウムでは、現在国立国語研究所で開発が進められている統語・意味解析情報付きコーパスである NPCMJ の概要を説明し、その言語学研究上の意義や、それがもたらす新しい言語研究の可能性について紹介する。特に、コーパス構築と理論研究の関連、また、日英語を例とした多言語に適用可能なコーパス設計の可能性に重点をおいて議論する。

参加者との議論を通じて、生成文法、構文文法、認知言語学、(日英) 対照研究の研究者などからの意見を広く仰ぎ、言語研究とコーパス開発の双方の分野の交流を活性化することを目指したい。

司会 吉本 啓 (東北大学)

講師 プラシャント・パレデン (国立国語研究所)

講師 吉本 啓 (東北大学)

講師 鈴木彩香 (国立国語研究所)

窪田悠介 (筑波大学)

プラシャント・パレデン (国立国語研究所)

講師 Alastair Butler (弘前大学)

講師 Alastair Butler (弘前大学)

Stephen Horn (国立国語研究所)

コメンテーター 福島一彦 (関西外国語大学)

趣旨説明

「言語研究と統語・意味解析情報付きコーパス」

「構文検索ツール NPCMJ Explorer」

"A unified interface for exploring English and Japanese."
※英語での発表

"English/Japanese contrastive study based on normalization, a step in the semantic processing."
※英語での発表